

文部科学省 情報ひろば 『サイエンスカフェ』

主催：日本学術会議、文部科学省

参加無料です

平成24年度・第6回サイエンスカフェを、次のとおり開催いたします。
テーマに少しでもご興味がありましたら、お気軽にご参加ください。



日 時 平成25年3月22日（金） 19：00～20：30
場 所 文部科学省情報ひろばラウンジ（旧庁舎1階）
主 催 日本学術会議、文部科学省
講 師 小玉重夫さん（日本学術会議連携会員、東京大学大学院教育学研究科教授、
東京大学大学院教育学研究科 学校教育高度化センター長）
コーディネーター 秋田喜代美さん（日本学術会議会員、東京大学大学院教育学研究科教授）
ファシリテーター 長谷川麻子さん（日本科学未来館科学コミュニケーター）
テーマ 「子どもたちへの政治教育」
定 員 30名
参加費 無料
申込み方法 事前申し込みでの受付となります。
「氏名」、「連絡先」、「3月22日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールを、
stw@mext.go.jp (@は小文字) 宛にお送りください。

昨年末に行われた総選挙は、投票率が59.32パーセントで、戦後最低の投票率でした。しかし他方で、今回の総選挙に合わせて各学校などで実施された未成年の模擬投票に対しては、これまで以上に新聞社やテレビ局からの取材も多かったようです。その背景には、2007年に成立した国民投票法が投票年齢を18歳以上と定めたことにより、政治教育への関心が高まっていることがあります。昨年1月に公表された総務省の「常時啓発事業のあり方等研究会」最終報告書では、将来を担う子どもたちに対し、学校での「政治的リテラシー」（政治的教養）の教育を強化することを提言しています。

政治教育の尊重は教育基本法第14条でも規定されている重要な課題ですが、これまで学校現場では、政治的中立性に配慮するあまり、ともすれば政治教育が忌避される傾向がありました。子どもたちへの政治教育は可能なのでしょうか。可能であるとすれば、それはどのような条件のもとでなのでしょう。具体的な実践例などをもとにしながら、考えていきたいと思えます。